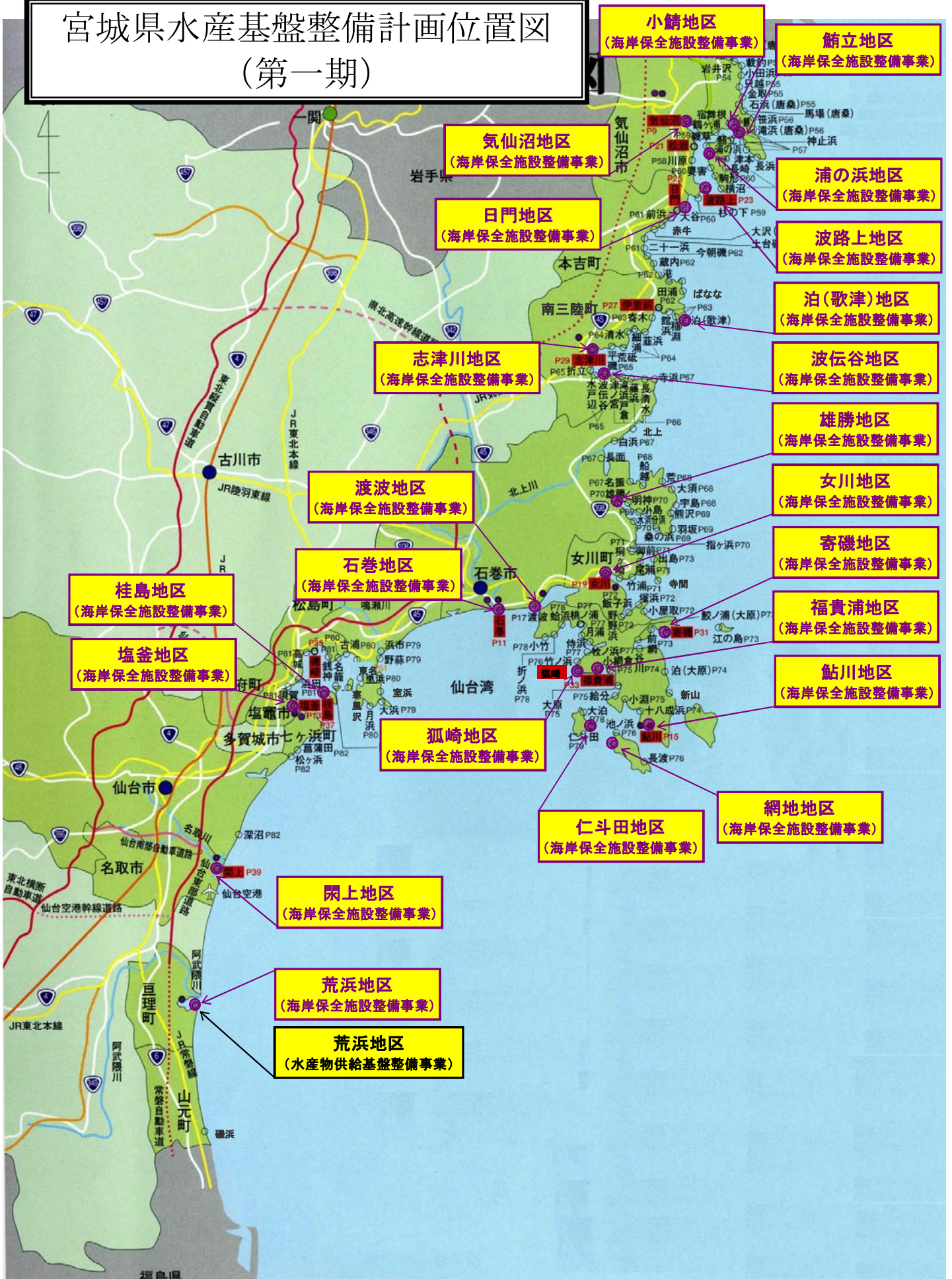


宮城県水産基盤整備計画位置図 (第一期)



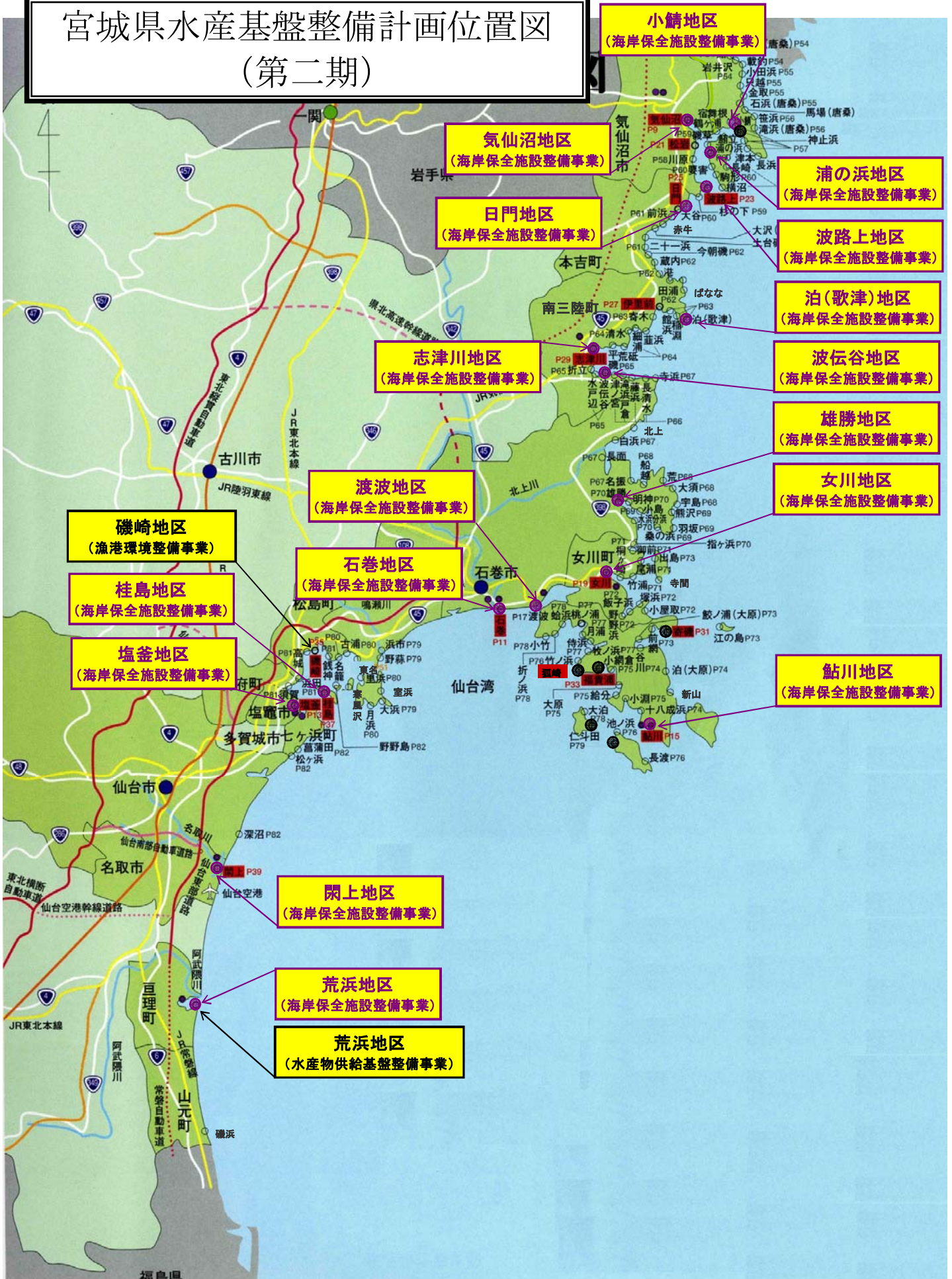
農山漁村地域整備計画事前評価調書

計 画 概 要	計画の名称	宮城県水産基盤整備計画(第一期)	
	計画策定主体	宮城県	
	対象市町村	気仙沼市・南三陸町・女川町・石巻市・塩釜市・名取市・亶理町	
	計画期間	平成23年度～平成27年度(5年間)	
	計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・海岸保全施設の整備により、津波・高潮等による被害を防止し県民の生命・財産を守る。 ・安全に水産物を供給するための基盤整備を推進する。 ・漁港の環境向上に必要な施設の整備を推進する。 	
	評価の指数	<ul style="list-style-type: none"> ・漁港海岸において、背後集落1, 551haの浸水を防護する。 ・荒浜地区の岸壁を整備することにより6隻分の係船岸を確保する。 	
対象事業	<ul style="list-style-type: none"> ・海岸保全施設整備事業 23地区 ・水産物供給基盤整備事業 1地区 	合計24地区	
全体事業費	27,381,000 千円		

評 価	評価の項目	評価の視点	判定
	目 標 の 妥 当 性		1, 関連する計画との整合性が図られていること。
2, 地域の課題に適切に対応する目標となっていること。			○
整 備 計 画 の 効 果 ・ 効 率 性		1, 整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれていること。	○
		2, 事後評価が出来る適切な指標となっていること。	○
		3, 構成事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっていること。	○
整 備 計 画 の 実 現 可 能 性		1, 円滑な事業執行の環境が整っていること。	○
		2, 地元の機運が醸成されているか。	○

	項目	評価細目	評価	参考(判定理由)
評 価	目標の妥当性	1, 関連する計画との整合性が図られていること。	○	長期計画(マスタープラン)と整合が図られている。
		2, 地域の課題に適切に対応する目標となっていること。	○	地域の課題に対する目標が設定されている。
	整備計画の 効果・効率性	1, 整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれていること。	○	対象事業を実施することにより定量的指標を達成し, その指標を達成することにより, 整備計画の目標を達成する。
		2, 事後評価が出来る適切な指標となっていること。	○	交付期間終了時に, 達成状況の確認が可能な指標が設定されている。
		3, 構成事業の実施による効果の評価するための指標として適切なものとなっていること。	○	各事業の事業目的に適合した指標としており, 適切なものとなっている。
	整備計画の 実現可能性	1, 円滑な事業執行の環境が整っていること。	○	事業計画について関係市町等と打合せを行い円滑に執行できる環境になっている。
		2, 地元の機運が醸成されているか。	○	関係機関との調整により機運が醸成されている。

宮城県水産基盤整備計画位置図 (第二期)



農山漁村地域整備計画事前評価調書

計 画 概 要	計画の名称	宮城県水産基盤整備計画(第二期)		
	計画策定主体	宮城県		
	対象市町村	気仙沼市・南三陸町・女川町・石巻市・塩釜市・名取市・亶理町		
	計画期間	平成28年度～平成32年度(5年間)		
	計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・海岸保全施設の整備により、津波・高潮等による被害を防止し県民の生命・財産を守る。 ・安全に水産物を供給するための基盤整備を推進する。 ・漁港の環境向上に必要な施設の整備を推進する。 		
	評価の指数	<ul style="list-style-type: none"> ・漁港海岸において、背後集落1, 538haの浸水を防護する。 ・荒浜地区の岸壁を整備することにより6隻分の係船岸を確保する。 ・磯崎・浦の浜地区の緑地を整備することにより、漁港環境を向上させる(2漁港)。 		
対象事業	<ul style="list-style-type: none"> ・海岸保全施設整備事業 ・水産物供給基盤整備事業 ・漁港環境整備事業 	<ul style="list-style-type: none"> 17地区 1地区 2地区 	合計20地区	
全体事業費	41,626,830 千円			

評 価	評価の項目	評価の視点	判定
	目 標 の 妥 当 性		1, 関連する計画との整合性が図られていること。
2, 地域の課題に適切に対応する目標となっていること。			○
整 備 計 画 の 効 果 ・ 効 率 性		1, 整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれていること。	○
		2, 事後評価が出来る適切な指標となっていること。	○
		3, 構成事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっていること。	○
整 備 計 画 の 実 現 可 能 性		1, 円滑な事業執行の環境が整っていること。	○
		2, 地元の機運が醸成されているか。	○

	項目	評価細目	評価	参考(判定理由)
評 価	目標の妥当性	1, 関連する計画との整合性が図られていること。	○	長期計画(マスタープラン)と整合が図られている。
		2, 地域の課題に適切に対応する目標となっていること。	○	地域の課題に対する目標が設定されている。
	整備計画の 効果・効率性	1, 整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれていること。	○	対象事業を実施することにより定量的指標を達成し, その指標を達成することにより, 整備計画の目標を達成する。
		2, 事後評価が出来る適切な指標となっていること。	○	交付期間終了時に, 達成状況の確認が可能な指標が設定されている。
		3, 構成事業の実施による効果の評価するための指標として適切なものとなっていること。	○	各事業の事業目的に適合した指標としており, 適切なものとなっている。
	整備計画の 実現可能性	1, 円滑な事業執行の環境が整っていること。	○	事業計画について関係市町等と打合せを行い円滑に執行できる環境になっている。
		2, 地元の機運が醸成されているか。	○	関係機関との調整により機運が醸成されている。